



檀原北やまとこども園

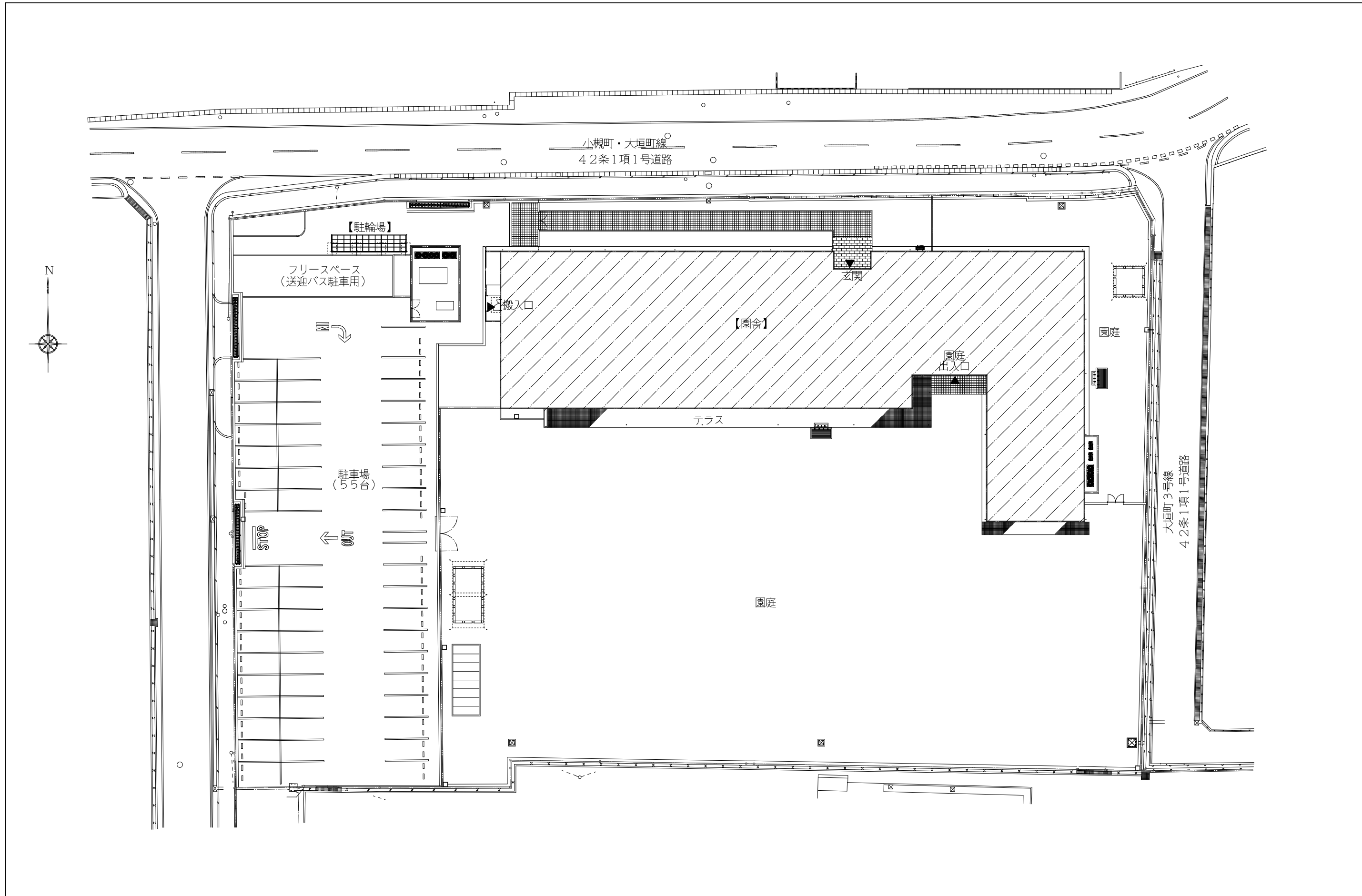
第2回三者協議会資料

社会福祉法人アタラシイカタチ

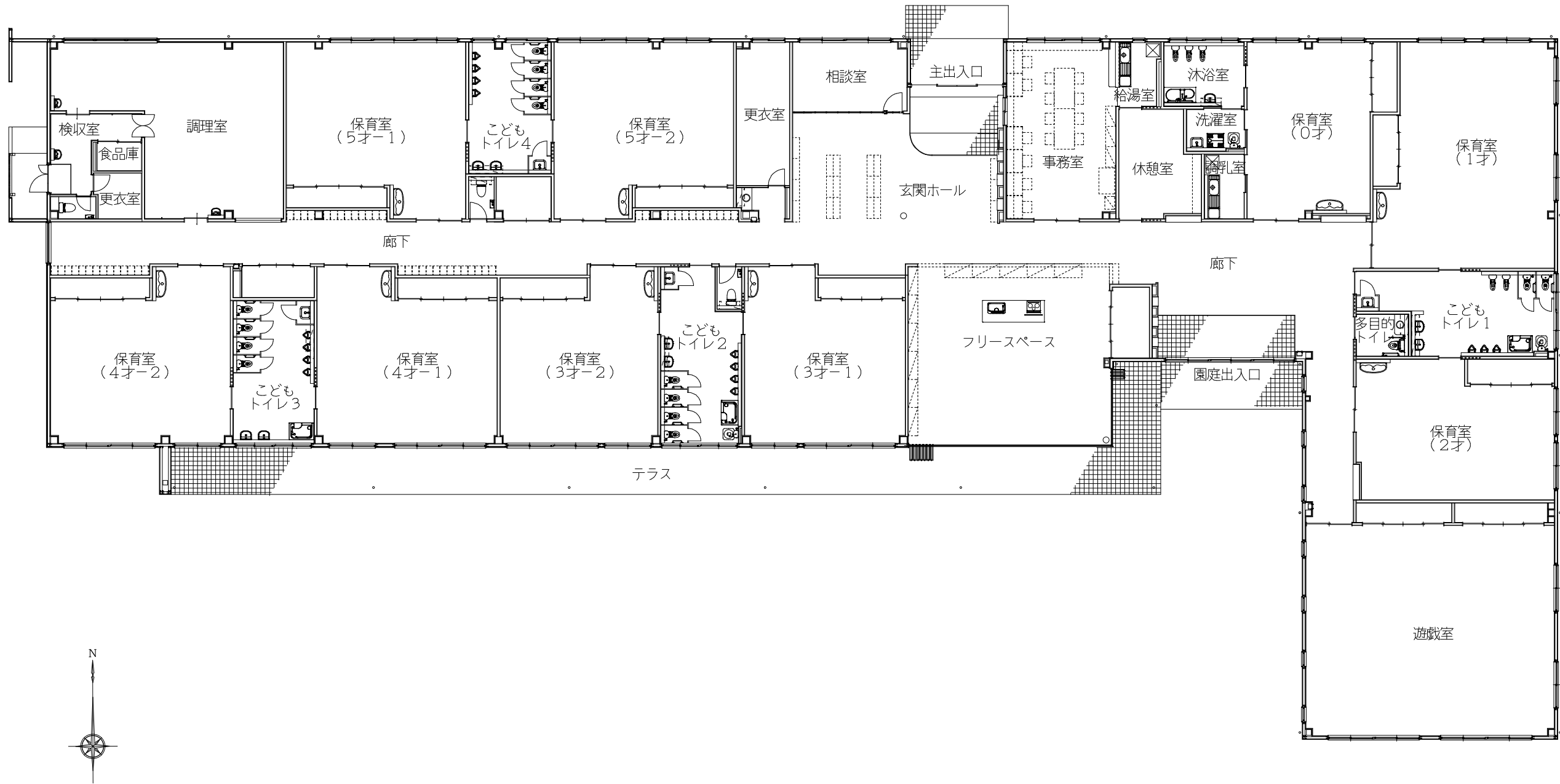
ア・タ・ラ・シ・イ
カ・タ・チ



工事名		公私連携幼保連携型認定こども園 樞原北やまとこども園新築工事											ヒロタ建設株式会社		想定される 近隣影響	
		全体工程2026年 2月1日～2027年2月28日(予定)														
工事項目	2026年												2027年			
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
開発工事	→															
仮設工事		仮囲い	基礎足場			外部足場							仮囲い撤去			
杭工事		→													騒音・振動は低い 工法採用	
基礎工事			→			ダンプ・油圧ショベル・コンクリートミキサー車								大型重機、車両の エンジン音、掘削 時の振動		
鉄骨工事					→			レッカー車により鉄骨組立								レッカー車のエンジ ン音、鉄と鉄の当た る音
屋根・外壁工事							→									
内装工事								→								
外構工事												→			大型重機、車両の エンジン音、振動	
設備関係工事				→												
隣地への配慮	現場周囲へは万能鋼板、またはフェンスにシートを張り、騒音・埃防止対策															
	外部より見える場所へ工事内容の告知看板を設置															



凡例	JOB NO.	DATE	JOB NAME	NO.
	APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE
			社会福祉法人 アグライカター 公転連携施設連携型認定こども園 稲庭北やまこども園 稲庭1号 配置図 1:200 (A1) 1:400 (A3)	設計図 134567 木田 隆 宣
	株式会社 サンコウ設計 一級建築士 134567 木田 隆 宣			



凡例	JOB NO	DATE	JOB NAME	NO
	APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE
			社会福祉法人 アグライカター 公称連立幼稚園指定こども園 札幌北やまこども園 新築工事 設計図 平面図 S=1:100 (A1) G=1:200 (A3)	
	一級建築士 134567 木田 隆 室			

子どもが主体的に遊べる環境づくり
想像, 創造, 表現, 学び合い・・・

奈良教育大学
廣瀬聡弥

1

保育を見学させて頂いて

- 熱意
- 保育を語れること
- IBを含めた様々な取組を頑張ろうとしている
- 過渡期 (概念と保育の融合)

2

ユニットプランナー
概要

学年: 52期
チームメンバー: 才名, 深田, 田村, 津中
目的: ユニットの流れ

教科の枠を超えたテーマ

中心的 (セントラル) アイデア
想像力は新しい世界をつくり出します。
Imagination creates new worlds.

特定概念 と 探究の流れ

① 視点	① 登場人物を理解する Understanding Characters
② 展開・関係	② 想像力を扱う Using our Imagination
③ 変化	③ 新しい物語を語る Telling a New Story

3

1.16.1 導入
1.16.2 展開
1.16.3 展開
1.16.4 展開
1.16.5 展開
1.16.6 展開
1.16.7 展開
1.16.8 展開
1.16.9 展開
1.16.10 展開

4

1.16.1 導入
1.16.2 展開
1.16.3 展開
1.16.4 展開
1.16.5 展開
1.16.6 展開
1.16.7 展開
1.16.8 展開
1.16.9 展開
1.16.10 展開

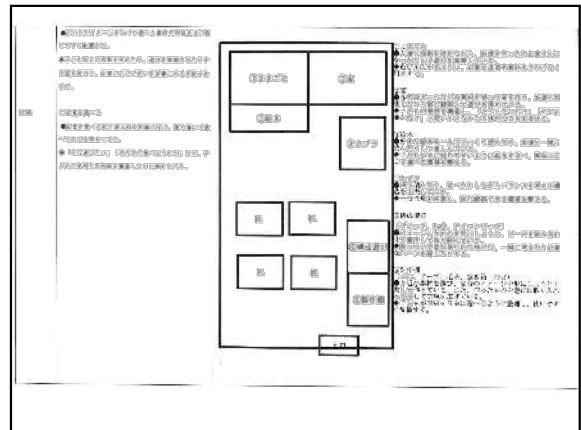
5

1.16.1 導入
1.16.2 展開
1.16.3 展開
1.16.4 展開
1.16.5 展開
1.16.6 展開
1.16.7 展開
1.16.8 展開
1.16.9 展開
1.16.10 展開

6



7



8

見て欲しいポイント

FUNDAY !

- 3, 4, 5 歳児が交流しながら**主体的な遊び**ができる場が準備できているか
- 保育者が、子ども達に**主体的な遊び**を実現するための**援助**ができているか

9

見て欲しいポイント

もみじ組「おはなし遊び」

- 子ども達が**自分の思いや考え**を言葉にできているか
- 友達の話を最後まで聞いたり、**一緒に考えよう**としていたりしているか
- 考察を通して**世界や言葉が広がっているか**

いちよう組「ごっこ遊び」

- どのような環境で自分で遊びを選び、**続けているか**
- **試行錯誤**しながら遊んでいるか
- 友達と一緒にイメージを共有しながら遊んでいるか

10

キーワードとして


- 表現
- 想像力
- 創造
- 主体性
- 友達と共有し、一緒に考える
- 試行錯誤 (学習の1つ)
- 保育者の援助

11

教育と学習

12

教育とは？




- 文化的・社会的な価値を計画的に伝える営み
- ヒト以外の種でも教えているらしき行動が見られるが、体系的な教育行動を確認した報告はない(Tomasello, 2009)

⇒教育はヒトが育ち、文化や社会形成の根幹
⇒保育者・教員

13

教育というとは？




- 幼児教育を含めた学校教育をイメージ
⇒制度としての教育
- 当たり前の教育について、少し異なる視点で捉える

人は、他の動物と違って、生きるために必要な知識を1人だけでも、また他の個体がやっているのを見て真似して学ぶだけでなく、すでに知識を持っている人達から、何らかの形で教わらなければ身につけられない動物として、進化的に生まれついている。

14

3つの学び



個体学習：1人で学習(本やネットで学ぶのではない)


- 試行錯誤学習
- 洞察学習

社会学習：他個体の影響を受けながら学習

- 模倣学習：モデルが学習者にとって重要な人物や魅力的な人物だと起こりやすい。
⇒モデルとしての保育者の存在は重要。
- 共同学習

15

3つの学習

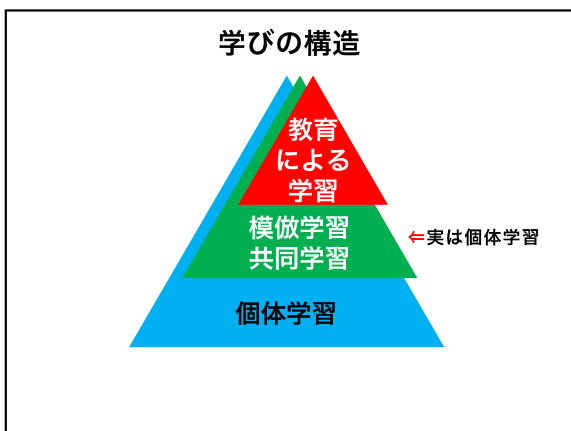


教育学習：すでに知識や技能を持つ個体が、目の前にその知識や技能を持たない学習者がいるときに特別に行う利他的な行動によって、その学習者に学習が生じること。

- ①Aが経験の少ないBがいるときのみ、その行動を修正する
⇒他者の学習のためにわざわざすること
- ②Aはコストを払うあるいは直接の利益を被らない
⇒教える側には直接の利益がないこと
- ③Aの行動の結果、そうしなかったときと比べてBは知識や技能をより早く、あるいはより効率的に獲得する。あるいは、そうしなければまったく学習が生じない。
⇒学習が本当に成り立っていること

(Caro & Hauser, 1992)

16



17

想像力と創造

18

お話し作り

以下の設問にあるそれぞれ2つの言葉を用いて、簡単なお話を思いつく限り作って下さい。なお、話の長さや設定などはまったく自由に構いませんし、無理して独創的なものを作ろうとする必要もありません。

- A 自動車・女の子
- B コンピューター・心

19

新しいことを創造するためには？

- 記憶による過去の再現 ⇒ 活動は難しい
- 想像：経験したことの無いことを思い浮かべる
こと
- 想像のメカニズム
 - ①知覚
 - ②分解して各要素に分けて記憶
 - ③要素の連合・統一(新しい状況に適した想像)
- 想像力 ⇒ 創造(芸術的創造, 科学的創造, 技術的創造など)

20

想像力が創造へ結びつく要因

- ヒトが環境に適応しようとする要求不応答が創造の動因(行動の直接的な原因)
⇒ 満ち足りてはダメ
- 想像力が創造へと実現するためには、その活動を可能にする環境が必要。

21

想像力と現実との関係

1. 想像力をいかに豊かにするかは、過去の現実体験が豊富であるかに依存。
2. 本を読んで自分が目撃していないことを知ることも想像力。このような想像力は現実体験を拡大することに役立つ。
3. いくつかの要素を結合するとき、その要素が含んでいる情動の性質が似たものが結びつきやすい。
4. 想像により創造がなされたとき、創造物は現実となり、新たな想像へとつながる。
⇒ 想像と現実は円環的

22

想像し創造する保育で大切なこと

1. 繰り返しのある環境に子どもが主体的に関われること。
2. 繰り返しのある仲間との関わり。
3. 子ども同士が関わり合える環境が、多く存在すること。
4. 子どもの状況に応じた保育者の援助。

23



24

**1年間以上、
教育・保育することの責任！**

- 繰り返しの関わり = 関係
⇒言葉かけなどへのこだわり
- 自由保育と放任保育
⇒環境構成等へのこだわり
- 乳幼児期の経験の重要性

25

言葉かけ や 援助

「先生、これ、どうしたらいい？」

⇒保育者は、無限にある選択肢の中から、即興的に1つ選んで対応

- 年齢や発達
- その子どもについて(以前の学年も含め)
- 状況
- 活動に対する保育者の思い

**この繰り返しの関わりが、1年後の育ちと
なって表れる**

26

「共有」「連続」「可視化」

- 経験したことを「共有」する。
⇒説明・対話の機会を作る。
- 経験を「連続」させる。
⇒活動が何日も続くことで、おもしろさわかる。
- 経験を「可視化」する。
⇒ドキュメンテーション。
「やったこと」より「何を学んでいるか」

27

次の改定に向けて

28

学習指導要領はどのようにして改訂されるか

学習指導要領の改訂に向けた議論が開始

令和6(2024年)12月25日中央教育審議会諮問を受け、学習指導要領の改訂に向けた議論が始められました。
改訂は約10年で予定され、中央教育審議会での有識者等による議論や、パブリックコメントなどの方からの意見も踏まえて行われます。

学習指導要領改訂の大まかな流れ

2024年12月25日 文部科学大臣から中央教育審議会に諮問
2025年1月30日～ 中央教育審議会からの諮問
パブリックコメント募集
パブリックコメント募集

初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について (諮問のポイント：詳細版)

29

初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について (令和6年12月25日中央教育審議会諮問) (概要)

子供たちを取り巻くこれからの社会の状況

- 不確実性の増大(少子化、高齢化、グローバル化の進展、AIやデジタル技術の発展等)
- 多様な価値観の存在による社会の分断化
- 共有価値の希薄化や、デジタルネイティブ世代の誕生
- 高齢化による社会の負担増大
- 国内の人口減少や、デジタル技術の進展による社会の分断化
- AIやロボット技術の進展による社会の分断化
- 少子化による人口減少や、高齢化による社会の負担増大
- 多様な価値観の存在による社会の分断化

現在の学校現場の状況

- 単科学習の増加や、社会・対外的な教育課程の充実
- 個別学習の増加や、社会・対外的な教育課程の充実
- 個別学習の増加や、社会・対外的な教育課程の充実
- 個別学習の増加や、社会・対外的な教育課程の充実

現在化している課題

- 個別学習の増加や、社会・対外的な教育課程の充実
- 個別学習の増加や、社会・対外的な教育課程の充実
- 個別学習の増加や、社会・対外的な教育課程の充実
- 個別学習の増加や、社会・対外的な教育課程の充実

初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について (諮問) 概要

30

12. 資料の活用と実践の工夫

13. 子どもの学びの姿

14. 子どもの学びの姿

15. 子どもの学びの姿

16. 子どもの学びの姿

17. 子どもの学びの姿

18. 子どもの学びの姿

19. 子どもの学びの姿

20. 子どもの学びの姿

21. 子どもの学びの姿

22. 子どもの学びの姿

23. 子どもの学びの姿

24. 子どもの学びの姿

25. 子どもの学びの姿

26. 子どもの学びの姿

27. 子どもの学びの姿

28. 子どもの学びの姿

29. 子どもの学びの姿

30. 子どもの学びの姿

31. 子どもの学びの姿

32. 子どもの学びの姿

33. 子どもの学びの姿

34. 子どもの学びの姿

35. 子どもの学びの姿

36. 子どもの学びの姿

37. 子どもの学びの姿

38. 子どもの学びの姿

39. 子どもの学びの姿

40. 子どもの学びの姿

41. 子どもの学びの姿

42. 子どもの学びの姿

43. 子どもの学びの姿

44. 子どもの学びの姿

45. 子どもの学びの姿

46. 子どもの学びの姿

47. 子どもの学びの姿

48. 子どもの学びの姿

49. 子どもの学びの姿

50. 子どもの学びの姿

51. 子どもの学びの姿

52. 子どもの学びの姿

53. 子どもの学びの姿

54. 子どもの学びの姿

55. 子どもの学びの姿

56. 子どもの学びの姿

57. 子どもの学びの姿

58. 子どもの学びの姿

59. 子どもの学びの姿

60. 子どもの学びの姿

61. 子どもの学びの姿

62. 子どもの学びの姿

63. 子どもの学びの姿

64. 子どもの学びの姿

65. 子どもの学びの姿

66. 子どもの学びの姿

67. 子どもの学びの姿

68. 子どもの学びの姿

69. 子どもの学びの姿

70. 子どもの学びの姿

71. 子どもの学びの姿

72. 子どもの学びの姿

73. 子どもの学びの姿

74. 子どもの学びの姿

75. 子どもの学びの姿

76. 子どもの学びの姿

77. 子どもの学びの姿

78. 子どもの学びの姿

79. 子どもの学びの姿

80. 子どもの学びの姿

81. 子どもの学びの姿

82. 子どもの学びの姿

83. 子どもの学びの姿

84. 子どもの学びの姿

85. 子どもの学びの姿

86. 子どもの学びの姿

87. 子どもの学びの姿

88. 子どもの学びの姿

89. 子どもの学びの姿

90. 子どもの学びの姿

91. 子どもの学びの姿

92. 子どもの学びの姿

93. 子どもの学びの姿

94. 子どもの学びの姿

95. 子どもの学びの姿

96. 子どもの学びの姿

97. 子どもの学びの姿

98. 子どもの学びの姿

99. 子どもの学びの姿

100. 子どもの学びの姿

37

FUNDAY! の人数

クラス	内容	9:30	9:45	10:05
いちよう	制作, ごっこ	9	16	15
もみじ	風船バレー	17	0	10
さくら	ソフトブロック	14	10	9
りんご	ままごと, レゴ	7	7	3
かりん	机上遊び	6	7	8
もくれん	ブロック	8	8	8
遊戯室	サーキット		38	28

- 各クラスの活動のねらいは何か
- 素材の自由度の検討
- 異年齢をねらいにした場合の環境の刺激

38

カンファレンス

見て欲しいポイント

FUNDAY!

- 3, 4, 5 歳児が交流しながら主体的な遊びができる場が準備できているか
- ⇒ 主体的になるために、どのような環境の工夫をしたか
- ⇒ 繰り返しのある環境や関わりとなるために、今後、どのようなことが考えられるのか
- 保育者が、子ども達に主体的な遊びを実現するための援助ができているか
- ⇒ どのような援助や言葉かけを行ったか
- ⇒ 今後、どのようにするか

39



40



41



42

カンファレンス



もみじ組「おはなし遊び」

- ねらいを達成するために、どのような工夫をしたか
- 今後、想像し創造するために、どのようなことが考えられるか
- オラリティ(orality)とリテラシー(literacy)

いちよう組「ごっこ遊び」

- ねらいを達成するために、どのような工夫をしたか
- 今後、試行錯誤し、仲間に伝え共有するためには、どのようなことが考えられるか
- アクセス可能な素材や道具
- 直後の振り返り